

# 行政視察報告書

石川 恒男

## 1. 日時及び視察事項

平成30年1月22日(月) 午後1時30分～

- ・「公・民・学」が一体となる、良まちづくり。
- ・市庁舎整備について

面指看

柏市役所

総務部 資産管理課



課長 有賀 浩一  
ARIGA KOUICHI

〒277-8505 千葉県柏市柏五丁目10番1号  
TEL 04-7167-1111(代表)  
04-7167-1114(直通)  
FAX 04-7166-6026  
E-mail: shisankanri@city.kashiwa.chiba.jp

柏市

総務部 資産管理課

かくない

格内 健司

〒277-8505 千葉県柏市柏五丁目10番1号  
TEL 04-7167-1111(代)  
04-7167-1114(直)  
FAX 04-7166-6026  
E-mail: shisankanri@city.kashiwa.chiba.jp

平成30年1月23日(火) 午前8時30分～

- ・柏インフォメーションセンターについて

面指看

## かしわインフォメーションセンター



特定非営利活動法人  
柏市インフォメーション協会

Kashiwa Information Center

事務局長 小島 和子



〒277-0005 千葉県柏市柏1-1-11 ファミリーかしわ3階  
かしわウェルカムプラザ内

TEL: 04(7168)8686 / FAX: 04(7168)8687  
URL: kashiwainfo.net / E-mail: info@kashiwainfo.net

「公・民・学」が一体となるまちづくり。市庁舎整備について  
 文根市の市庁舎は昭和37年12月20日竣工であったが  
 築55年が経過しており、耐震補強工事、或いは建て替え  
 等の喫緊の課題となっている。千葉県柏市では  
 民間力を活用し、市庁舎を整備するため、その手法は  
 建設業者が庁舎建設の基本理念、基本方針を示し  
 PFI方式で参加企業を募り、建設費については  
 設計から建築までを含めた10年間の賃貸借契約とし  
 契約期間終了時には市の無償譲渡されるという  
 内容です。建物概要については別紙資料参照。

柏市の概要は、東京都市から30km圏内に位置し、首都圏の  
 放射・環状両方向の交通幹線が交差部に位置する交通の  
 要衝であり、面積114.74km<sup>2</sup>、人口約412,000人の中核市  
 で、民産・学公の連携による国際学術研究都市づくりが  
 進展している。尚人口も増加している。財政力指標は  
 文根市の比ではありません。その柏市が庁舎整備に当り  
 建設ではつく、賃貸を採用した事による刺激を  
 受けてきた。文根市の現状は、建設基金は僅か1億円  
 人口減少の憂止むがからず、財政状況は基金が約  
 23億円、地方債残高が約122億円と非常に厳しい

状況にあります。この様な状況下での庁舎整備  
 問題。本市に於いても、早速プロジェクトチームを結成し  
 して、先進事例を調査研究し、茨城県の中勢に  
 適した、そして市民の賛同を得る庁舎整備を  
 すべきと強く感じた研修でした。

その後「柏の葉スマートシティ」を視察しました。

これは、柏駅以西の、民・学・公が連携し、住宅棟、  
 オフィス、ショッピングモール、大学研究棟(軟)、ホテル等を集約  
 したコンパクトシティです。管理室では、柏市全体のエネルギー  
 の効率化を運用を見るときか出来事、コンパクトシティの  
 素晴らしさを実感しました。本市でも、コンパクトシティの  
 構想があります。住民の<sup>安全に</sup>安心して、快適に暮らせるよう  
 構想の実現化が待たれます。近未来都市は、  
 環境共生都市、新産業創造都市、健康長寿都市  
 が、街づくりのテーマです。街づくりのヒントを得た研修でした。



# 柏インフォメーションセンターについて

柏インフォメーションセンターは、平成13年10月1日、ハードは行政ソフトは民間が担う協働事業として、外国人への対応可能な柏のまちの総合案内所として開設された。運営管理はNPO法人柏市インフォメーション協会が年間3000万円の市の委託金と会員の年会費で賄っている。

施設面積 154.54㎡ (柏市所有)。柏駅隣接の駅ビル3F。NPO法人柏市インフォメーション協会は構成、理事7名正会員19名 (商店会、大型店、行政、事業所、大学代表、商工会議所等) 組織

事務局、局長1名、正職員4名、パート3名 (すべて民間人)。  
開館時間、年末年始(12/28~1/4)夏季(7.8月の第1.3日曜)を除く毎日、午前9時~午後7時。

## 設立の経緯について

- ・ショッピング等での来街者が多い。商圏人口238万人。
- ・ビジネスでの来訪者が多い。東大柏キャンパスの進出
- ・在任、訪問外国人の増加。2002 W杯キャンプ地への来客。行政・官民の情報もウェブサイト等で誰にでも提供できる施設が必要。

当初は、まちの総合案内所としての役割を担ったが、現在は

- ・ まちの案内事業、道案内、イベント情報、話題のお店紹介等
- ・ 情報発信事業、お店情報、会社案内、学校案内、イベント情報、観光マップ、お散歩ガイド、外国人向けマップ、パンフレットの作成等

① 情報発信事業 ホームページ、フェイスブック、ツイッター、SNSニュース  
インスタグラムの運営と情報紙の発行

② まちづくり事業 音楽、アート、食事等まちの魅力を創出す  
るイベントの協力。

講演会、セミナー、イベント等の企画運営

と、この事業も運営してある。天取市の商工会と観光  
協会が合わさった様な組織です。柏市の場合、

人口約42万人、柏駅の乗降客数約38万人(1日当り)。

そして人口が増加傾向にあることから事業の必要性  
更に運営が成り立つかと思います。課題として、収入を増やす  
ための方策も検討中との事で、

天取市にも商工会

観光協会があります。観光協会の事務所も専任の職員

もありません。商工会館は目振通りから、離れ<sup>なく</sup>場所の

あり来訪者の対応が急がせている。そこで、天取道の駅の

中が、エコモビルハウスの一部を活用し、まちの案内事業、

情報発信事業も運営してはと想います。まちの活性化に

寄与する事が期待できる。観光協会の存在感もで

るのではなかと想います。一般質問等に当局に

提案してはと想います。